

① 幡多広域消費生活センター便り ～サブスクリプションアプリの削除だけでは解約になりません～

◆相談事例

1 カ月無料の動画配信サービスを登録。動画を視聴しようとしたが上手くいかず、数週間後にアプリを削除した。その後、キャリア決済で毎月約2,000円、半年以上もサブスクの代金が引き落とされていることに気付いた。一度も視聴せずにアプリを削除したのに、引き落とされていたことに納得できない。(60歳代)

◆アドバイス

- サブスクリプション(サブスク)は、定められた料金を定期的に支払うことで一定期間商品やサービスを利用できるサービスです。一度契約すると、利用しなくても解約しない限り支払いが続きます。
- サブスクの契約は、アプリのアイコンを削除したり、アプリをアンインストールするだけでは解約とはなりません。事業者の定めた方法で解約することが必要です。
- 無料のお試しの場合は、お試し期間が終わると自動的に定額サービスに移行することが多いので注意が必要です。
- 利用していないサブスクの請求に気付けるように、クレジットカードやキャリア決済などの明細は、毎月確認しましょう。
- 困ったときは、お住まいの自治体の消費生活センターなどにご相談ください(消費者ホットライン188)。

(独立行政法人国民生活センター 見守り新鮮情報 第545号より)

※幡多広域消費生活センターでは、出前講座(無料)による啓発活動を実施しています。お気軽にお問い合せください。

○お問い合わせ

幡多広域消費生活センター ☎34-8805 ☎34-8809 消費者ホットライン ☎188
〒787-0012 四万十市右山五月町8番13号(アピアさつき2階駐車場西側)

【相談受付】月曜日～金曜日(祝日および年末年始を除く)午前9時～正午/午後1時～午後5時

訪問員のひとこと(脱炭素カルテ作成のための戸別訪問)

皆さん、こんにちは。暑さが和らいで過ごしやすくなってきましたね。今回は戸別訪問でお話をお聞きする中で、実際に太陽光設備を導入された方の例をご紹介します。

【導入前】

- 電気自動車(EV)を利用
- 月の電気代が5万円を超えることも
- 契約プランや電力会社の変更を試したが、思うような改善は見られず

【導入のきっかけ】

知人からの助言もあり、思い切って太陽光発電設備の導入を決意

【導入後】

- 蓄電池は無いが、電気自動車(EV)に余った電気をためて住宅で利用
- 更に余った電気はくろしおエナジーへ売電

【ご本人からコメント】

- 生活スタイルは一切変えていないのに、目に見えて電気代がダウン
- 未だ少しかかる電気代も、売電した金額で電気代は黒字になりました

訪問してお話をお聞きする中では「初期費用が高い」「我が家の環境でも設置できるかな」といった不安や疑問の声もよく耳にします。使用する電力量や日照条件による発電量、屋根スペースへの設置条件などさまざまなケースがあるため、必ずメリットが出るとは限りませんが、太陽光発電設備の導入について検討されてはいかがでしょうか。

○お問い合わせ 本庁 環境政策室 環境政策係 ☎43-2119



日中は充電



夜間は放電